

会社案内



空間から未来を描き、人と社会に^{いろいろ}丹青を。

パーパス／私たちの存在意義

空間から未来を描き、人と社会に^{いろいろ}丹青を。

私たち丹青社グループは、ここを動かす空間づくりのプロフェッショナルです。

私たちが考える空間づくり—

それは、まだ世の中にないものを、かたちにすること。

そして、空間によってもたらされる ^{ここ}動く体験 を生み出すこと。

よろこび、おどろき、安心、感動。

そこに集う人々の生活や人生を、豊かな^{ここ}の動きで彩るために。

そして、社会を「丹と^{あか}青」の豊かな色で鮮やかに彩るために。

私たちは多彩な個性を生かして、

これまでもこれからも、ここを動かす空間づくりに挑戦し続けます。

バリュー／私たちの価値観

人と向き合う

空間を通じてつながる仲間やステークホルダーの想いに誠実に向き合う。

丹精をこめる

プロフェッショナルの^{わざ}矜持と業で、一つ一つの仕事に真摯に取り組む。

いまの先に挑む

しなやかな思考と創造力で自らを成長・変革させながら、挑戦し続ける。

個性をかけ合わせる

きらめく創造性、尖った技術、それぞれの個性を認め合い、ここを一つにする。

仕事を楽しむ

全ての仕事と変化を楽しむ。



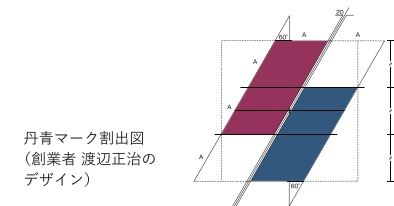
代表取締役社長

小林 統

社名の由来

丹青不^レ知老將^レ至
富貴於^レ我如^ニ浮雲^一
七言古詩 杜甫「丹青引贈曹將軍頭」

「丹青」とは、赤（丹）・青の基本的な2色から“豊かな色彩”を示し、転じて絵画や画家、絵を描くことを広く指した中国に由来する語です。「丹青の業」（美術制作・芸術的創造）は、豊かで快適な空間創造を手がける丹青社がひとつひとつのプロジェクトに込める熱意と独創性に宿っています。画業を示す「丹青」の語は、古来詩文の世界で愛されたことばでもありました。唐の詩人杜甫の七言古詩の一節にも「丹青知らず、老いのまさに至らんとするを。富貴は我において浮雲のごとし（絵画の道にうちこんで歳をとるのも忘れ、世上の富貴など一向に執着しない）」と詠われています。この詩は芸術的創造に没頭する姿を示して、創業者渡辺正治（故人）がたいへん愛したものでした。



「丹青」は「丹精をこめる」ことにも通じ、空間づくりにここを込めて携わる丹青社の一人一人が心に刻む言葉でもあります。赤と青には「情熱と英知」などの意味も重ねながら、企業マークでも力強い均整のなかに2色を表現してシンボライズしています。

「空間づくり」で課題を解決する

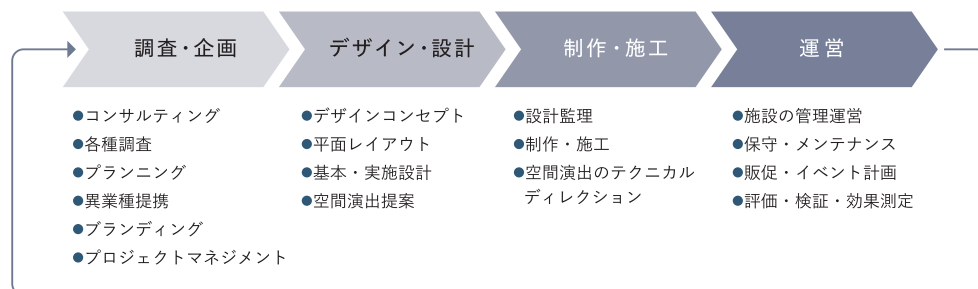
総合ディスプレイ業として、さまざまな領域のリアル場の場づくりで培ったアイデアやノウハウ、企画・デザイン力、演出・技術力等を活用して
多様な空間を具現化しています。空間づくりにより、お客さまそして社会の課題を解決することが、丹青社の提供価値です。

高い専門性と発想力・対応力と豊富なネットワークで、
体験メディアとしての空間の価値を最大化し、皆さまの信頼と期待に応えます。

● サービスラインナップ

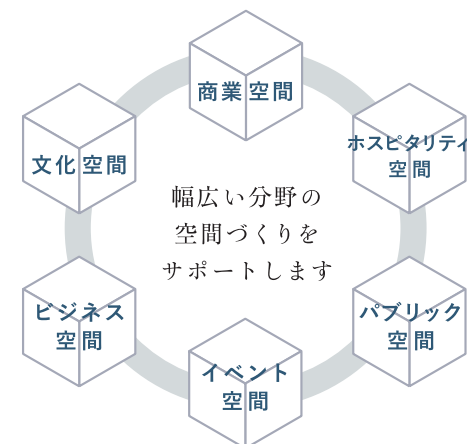
空間づくりに関するプロセスを一貫して手がけることで、お客さまのニーズにあわせて
ワンストップでプロジェクトをサポートしています。事業の成功、空間に集う人たちの想い、
環境への配慮、デジタルとの融合、法律、品質、安全、コスト、そしてデザイン。
空間づくりに関するさまざまな人や要素を結び、ともに新たな価値を生み出していきます。

空間づくりのプロセスを一貫してサポート

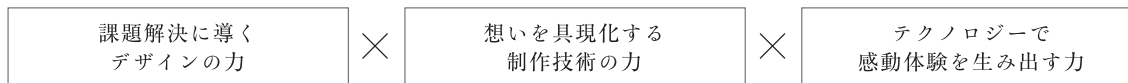


● 丹青社が手がける6つの空間分野

複合商業施設や国立博物館などの大型施設から、
新業態専門店の多店舗展開、事業領域を越えた多用途の空間なども含め、
年間6,000件を超えるプロジェクトを手がけています。



「専門力」×「総合力」で 空間づくりを支える

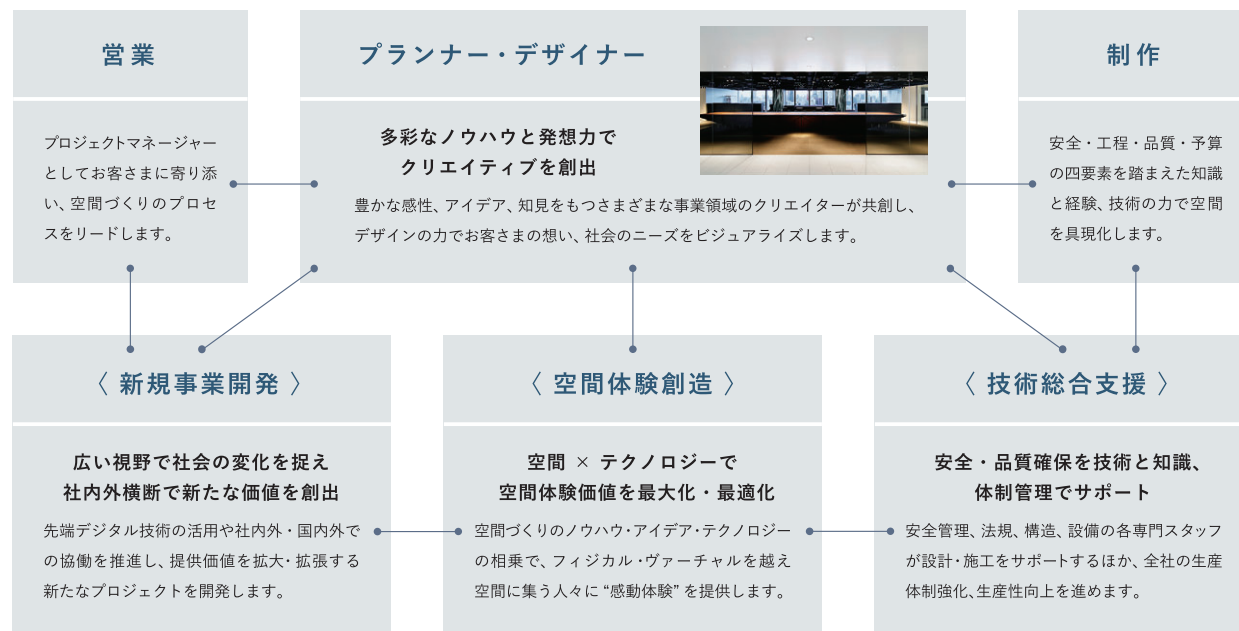


約1400名の社員が、北海道から九州・沖縄まで全国をカバーする拠点でサービスを提供しています。

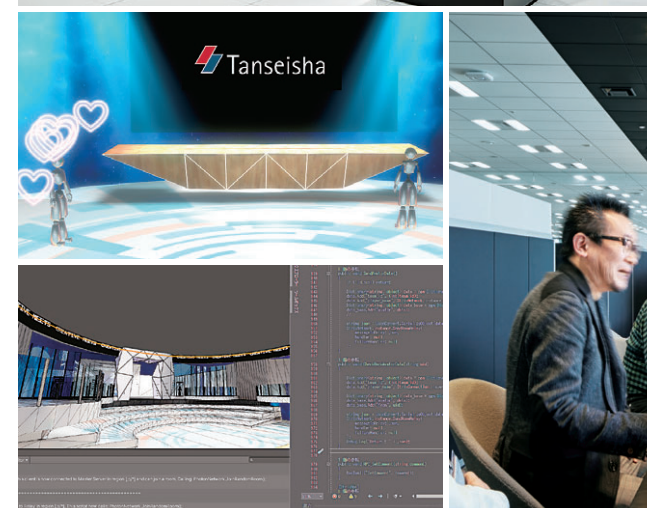
そのうち約270名がデザイナー・プランナー、約480名が制作で、

国家資格をもつ技術者の数は業界トップクラスです。

「ここを動かす空間づくりのプロフェッショナル」たちが、豊富なノウハウと高度な技術力と専門力、総合力を結び、お客さまの事業成功のため、丹精を込めて空間をつくりあげています。



(記載人数は丹青社グループ全体)





丹青社のプロフェッショナルたちは
知識・技能と感性を磨き、互いに高め合い
より良い空間の実現に挑み続けます。



丹青社のさまざまなソリューション

お客さまの資源を最大限に活かし、課題解決を多方面からサポートしています。

●先端デジタル技術による空間づくり

『港南ラボ マークスリー [Mk_3]』を拠点に、ICT、VR・AR、インタラクティブ技術等の実験・実証を進め、空間に実装します。



●地域創生の支援

地域課題の検証、事業構想から運営参画まで、地域のパートナーとして、ともに事業を生み出し、継続的にぎわいをつくります。



●施設運営のトータルプロデュース

指定管理者、運営委託、PFI等で、施設運営事業・施設の付帯サービスを総合的にプロデュースし、施設の魅力向上に貢献します。



『静岡市こどもクリエイティブタウン ま・あ・る』

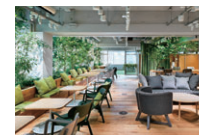
●工芸・アートによる空間価値向上

日本のアート・工芸プラットフォーム『B-OWND』を活用し、アーティストとの連携や作品の導入により空間の価値を高めます。



●新たな空間価値創出のための協創

『point 0』における協創を通じて、空間づくりのノウハウとパートナーの技術をかけあわせ、空間に新たな価値を創出します。



『point 0 marunouchi』

●ファシリティの総合保守サポート

専門チームと全国ネットワーク会社による迅速ローコスト安全安心のメンテナンス&リペア対応で施設の一元保守管理に貢献します。



サステナビリティ の取り組み

持続可能な社会の実現に向けて、「パーパス／私たちの存在意義」に基づき以下の6つのマテリアリティ(重要課題)およびSDGsの重点目標について、企業活動全体を通じた取り組みを推進しています。



1 人間の尊重

人権と多様性を尊重し、人間の幸福を追求します。「こころを動かす」空間・体験を提供するとともに、多様な社員が活躍できる環境をつくり、多様性を認め、活かし合う組織風土を醸成します。

2 環境との共生

地球温暖化や生物多様性の喪失、資源の枯渇といった環境問題に向き合い、企業活動全体を通じてその対策に取り組むことで、脱炭素、自然共生、循環経済の実現に貢献します。

3 地域・社会の発展への貢献

空間づくりを通して人々の豊かな交流を促すとともに、産業・経済活動の活性化や、多様で豊かな文化の創造・発信・継承を通して、地域や社会の発展に貢献します。

4 イノベーションの推進

社会の変化、テクノロジーの進化等に対応し、常に学び続けるとともに、各種研究開発や実証実験に積極的に取り組みます。新サービスや新事業の開発を通して、新しい価値の創造に挑戦し続けます。

5 責任あるサプライチェーンの構築

協力会社・パートナー企業とのネットワーク拡充と信頼関係構築を通じて、品質・安全を含む価値創造の基盤をつくり、サプライチェーン全体で環境や人権などのサステナビリティ課題に取り組みます。

6 コーポレートガバナンスの充実

社会の変化に適応し、コーポレートガバナンスの充実に継続的に取り組みます。意思決定の透明性・公正性を確保するとともに、企業として高い倫理観を備え、社会から信頼される企業であり続けます。

丹青社グループ

丹青社グループは、発想力と具現化力を含めた多彩なクリエイティブの力を大切に、こころを動かす空間づくりに挑戦し続けています。より良い空間づくりを通じて社会課題の解決に取り組み、人と人、人とモノ、人と情報を幅広い観点から結ぶことで、豊かな社会と生活の実現に貢献します。

- | | |
|---------------|------------------|
| ●株式会社丹青社 | ●株式会社JDN |
| ●株式会社丹青TDC | ●株式会社丹青ヒューマネット |
| ●株式会社丹青ディスプレイ | ●合同会社丹青やまなし |
| ●株式会社丹青ビジネス | ※PFI事業におけるSPCを除く |
| ●株式会社丹青研究所 | |



株式会社 丹青社

東京都港区港南1丁目2番70号 品川シーズンテラス19F 〒108-8220 Tel 03-6455-8100 (代表)

丹青社
ウェブサイト

